

令和5年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,185	5,444	258	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	250	250	-	
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	140	233	93	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	3,574	3,718	144	
授業料、入学科及び検定料収入	3,258	3,328	69	(注3)
雑収入	315	390	74	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,796	3,281	485	(注5)
目的積立金取崩	360	269	△90	(注6)
計	12,308	13,199	891	
支出				
業務費	9,217	8,910	△306	
教育研究経費	9,217	8,910	△306	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	250	250	-	
補助金等	44	128	84	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,796	2,738	△57	(注9)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	12,308	12,028	△279	
収入－支出	-	1,170	1,170	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金の交付及び教育・研究基盤維持経費の配分により、予算額に比して決算額が258百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が93百万円多額となっています。また、本収入には、授業料等減免費交付金が105百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注3) 授業料、入学科及び検定料については、主として予算段階では予定していなかった授業料収入の増収により、予算額に比して決算額が69百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、特許権収入および受託試験料収入等の増収により、予算額に比して決算額が74百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が485百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は381百万円となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が90百万円少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、執行計画の見直しや(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が306百万円少額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が84百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階で予定していた見込額を執行しなかったため、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。